

第2回 築地まちづくり検討委員会に係る打合せ会

議事概要

1 日時

平成30年9月19日（水） 10時45分～12時15分

2 場所

東京都庁第二本庁舎 10階 209会議室

3 出席者（敬称略）

岸井隆幸、宇田左近、中井検裕、安藤参与、邊見参与、検討委員会事務局（東京都）

4 意見の概要

○都市基盤施設の方針

- ・エリア区分は、新大橋通り沿いの価値を高めるために、複合的な都市機能の充実を図るエリアが加わったということ。

○土地利用の方針

- ・国際競争力という点で築地に集積機能があると、相乗的に競争力が増すことになるのか、大規模なものを置いて検討していった方がよいのではないかな。
- ・竹芝など周辺地域との連携や、世界の各都市と戦っていくためにはどのようにしたらよいのかという視点が必要。収益性を高める機能も必要。
- ・土地利用を検討するに当たっては、例えばインフラの整備時期など、どういうタイミングで何が動くかといったイメージの共有が必要。
- ・イノベーションもそうだが、都市の競争力という面で、東京は今後どういう役割を果たすのか。ヘルスケアやバイオだとすると、周囲に病院があることも手伝って、人が集まってくるとか、何かしらコアになるものが出るのかどうか。決め打ちはできないにしても、MICEがあるなど、関連施設含めて収益が上がるのか、都市機能の競争力強化という点で何かしら施設を面的に入れる必要がある。インバウンドもあるが、観光以外も何かしら必要。インキュベーション、インバウンドのほかに防災とかも考えたほうがよいのではないかな。

- 都でなければできないものを設ける必要があるのではないか。具体的な運営や企画は別として、何をつくるかということを含めてすべてを民間に任せるというものではないと思っている。
- 日本でインキュベーションだけで利益が出ている施設はほとんどないと思われるため、大分新しいことにチャレンジしなければ無理だと思われる。公共貢献で割り当てられて、事業のみでうまくまとめられているということもある。
- 色々なものの発祥の地ということなので、もう一步進めて議論してみてもどうか。

○段階的整備の進め方について

- 船着場周辺をまずはつくるというのであれば、もう少し内容を詰めていけるのではないか。観光バスの乗り入れもあり、事業者と共同でつくっていけば、収益も上がると思われる。
- 埋蔵文化財の調査などがあるので、最初に使えるところは限られている。そのため、開発は段階的になると思われるので、いくつかパターン分けをして、都が何をできるのかということをしっかり議論してほしい。